

協働パイロット事業提案団体アンケートでの主要意見

H20.10.8 市民生活課

毎年度、募集要項や募集方法を改善しており、旧年度の事業に対するすでに改善済みの意見も含まれていますので注意してください。

この書面では、自由意見の内、代表的な意見と特徴的な意見を取り上げたので、例えば、肯定的意見が多いからといって参加団体の多くが肯定的な意見をもっているということではありません。

1 目的・対象等について

(ア) 募集テーマ等

[適切又は肯定的意見]

自由部門はよい。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

課題部門と自由部門と分けずに募集

単年度型ではなく継続型のパイロット事業があっても良い

分野別に募集するのもおもしろいと思う。

応募団体の中でA、B、C 3つの団体に50万円託すのでB'の企画を行なってください。といったように、他の団体とのつながりや双方の「関心」を高めるしかけはどうか。

運営補助も対象として欲しい。

団体の既存事業は対象外のはずだが、若干変更しただけの事業がみられる。

[その他]

今回提出した企画が活かされる「敗者復活戦」もあるとよい

(イ) 応募資格

[適切又は肯定的意見]

提案を実現する意欲と能力があることが重要なので、今回の資格でよい。

10人以上のメンバーがいる会である事はそれほど高いハードルではない。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

メンバーが定員に達していなかった。

企業や個人が提案するのも良いと思う。

優れたアイデアが個人の発想ゆえに採用されないということも想定される。

NPO法人とその他団体を別枠で募集する。

市が何を協働したいかによって呼びかけ団体を選定すれば良い。

[その他]

出来るだけ限定した方が一つの明確な選抜基準になると思う。

(ウ) 金額設定

[適切又は肯定的意見]

安いと思うが、多くの活動団体が協働で事業を実施できると考えれば適切。
自立する市民を育てていく機会としては、高すぎず安すぎず、やりやすい金額。
税金を適切に使うべきだと思うので、このくらいが適切。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

事業内容に合わせた金額にしてほしい。金額のしぼりがあると自由な発想ができない。
金額を交渉で決められるようにしてほしい。
1年間活動できる予算が欲しい。
採用件数が少ない。
例えば20万と30万で出来る事業があれば二つの事業を選定する
予算総額が増えていない。市民自治のまちづくりを進めるなら、それを具現化できる申請事業を
全て採用するだけの予算をとるべき。
「25万」で辻つま合わせをしてしまう。

[その他]

設定予算を高くしても企画内容が良くなるとはいえない。
安いのか、高いのかわからないので、予算の範囲でやれることをやると考える。
市は、この額しか出せないとはっきり打ち出しているの、それに合わせるしかない。
予算の立て方が、NPOと市で基準が同じなのか、違うのか、わかりにくかった。

2 審査員・審査方法について

(ア) 審査員構成

[適切又は肯定的意見]

四名というのは話す方としては話し易かった。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

審査委員は、もっと多い方が良いと思う。
応募団体について、全く知らない人の評価があっても良い
人数やカテゴリーなど公平性が得られる構成にしてほしい。
より専門的な協働を提案する場合には委員にその分野の見識を有する人も必要になる。
「協働」ならば市民代表と行政が半々くらいの構成が良い。
企画に適する所管課職員の意見も必要。
すべての内容を判断できる審査員ではなかった
静岡市の状況(問題点)を知っている委員が好ましい。
審査員のプロフィールがもう少し紹介されている方がよい。

[その他]

枠を超えた自由な発想こそ市民活動に必要な視点だと思うので専門家はいら
ない次につながるアドバイスをできる人を入れて欲しい。

(イ) 審査委員会の運営について

[適切又は肯定的意見]

審査結果の点数化や委員名の公表など納得がいく方法だった。

公開での審査は、審査を萎縮したものにさせてしまうと思う。

緊張感が互いにあるといい。

評価内容が後に公開されれば、審査は非公開でよい。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

審査委員会を公開してほしい。

点数化する基準がわからない。

[その他]

公開審査は、審査員の高い技能が必要になってくると考える。

開示される部分が多いほど市民の関心を引くと思う

選ばれなかったが、私たち自身が思いを提案し、行政と市民へ表現できたことが楽しく、有意義な経験となった。

協働市場と混同して応募してしまった。

(ウ) 一次審査

[適切又は肯定的意見]

非公開の一次審査（書類審査）は、公正性に欠ける可能性がある。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

応募数からみると一次審査で絞ってもよいのではないか。

一次審査である程度ふるいにかける方が、無駄がなく余計な期待感を抱かなくて済む。

応募が多ければ必然的に書類審査も必要になると思う。

「市民と市民活動」を育てるプロセスがほしい。

[その他]

数ヶ所の高校でプレゼンを行ない、勝ち抜きトーナメント制というのはどうか。

(エ) 公開プロポーザル及び面接

[適切又は肯定的意見]

丁寧な質疑を受け参加してよかったと思った。

発表時間が長い方がよいが、質疑応答の中で補足できるので全体で 15 分は適切。

審査員は専門家なので、企画内容が優れていれば短時間でも納得させうるはず。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

やる気や独自性のPRには「プレゼン5分」は少ない(公開プレ)。

言いたいことを言い尽くせない。質問を受ける側としては1分では説明しきれない(面接)。

審査員が事前に熟読及び理解しているとしても、質問内容にそれが反映されていない。

当日の説明資料をプレゼン終了後に見られた審査員もいたのが残念。

質疑はお互い納得いくまでやって欲しい。

質疑応答よりも、プレゼンの時間を長くして欲しい。

準備時間は短くする(公開プレ)。

時間経過の目安があるとよかった。

プレゼン方法や事例等を教えてほしかった。

プレゼンでの評価というよりも企画内容で結果が出てしまったような感じがあった

応募数が多ければ2日間に分ける位のゆとりが欲しい。

ほぼ1日拘束されるのはキツイ。

順番での待ち時間が大変。

[その他]

簡略に説明できないなら提案力を養ってから臨めばよいと思う。

選ばれなかったが、私たち自身が思いを提案し、行政と市民へ表現できたことが楽しく、有意義な経験となった。

(公開プロポーザルは)他の団体の考え方、進め方が参考になった。

公開プレゼンに一般市民の参加が無い。特に若者。他の団体も、自分たちの発表が終わると帰ってしまう。

(オ) 評価の視点について

[適切又は肯定的意見]

丁寧に審査してもらったと理解できる項目でよかった。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

「協働にふさわしい事業」はあいまい。わかりにくい。

「先駆性や創造性」を理解してもらえなかった。

提案が多岐にわたっていて同じ評価基準で評価できる内容ではない

その分野を公平・専門的に判断できる審査員でないと無難な内容で決定してしまう傾向。

採用された提案が、特定の分野に偏っている。

(カ) 審査の結果の公表について

[適切又は肯定的意見]

参加した団体だけでなく一般市民も提案と審査を知る機会が得られるよう公開する。
自分たちの評価がどの程度かを知っておきたい。
評価は、次の活動につながる。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

具体的にどんなところが問題だったのか、点だけではわからなかった。

[その他]

聞かない方が「幸い」ということもあります。
行政も市民活動も情報公開が原則

3 募集時期・PR方法について

(ア) 募集時期

[適切又は肯定的意見]

意欲のある団体は日ごろからアイデアを持っている。
活動計画の立案時期なので良い時期だと思う。
これくらいの準備期間で妥当。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

他の応募事業と時期が重なり余裕がない。
他の団体や学校などとの協働事業では、4月にスタートできるようにしてほしい。

(イ) PR方法

[適切又は肯定的意見]

意欲のある団体は常に情報入手を心掛けている。意欲的な団体への働きかけで充分。
NPOの方から情報を取りに行く姿勢も必要なので適切なPR方法でした。
郵送資料や広報など、関係する活動をしている人ならば情報を知る事は可能。

[問題点又は新しい提案に関する意見]

市民活動促進の指針として、その姿勢をアピールする視点をもってPRすべき。
マスコミを活用すべき。
協働パイロット事業といわれてもピンとくる団体は、そう多くはないのでは。
私たちは気づかず友人から知った。

[その他]

秀逸でも人知れず埋もれたアイデアもあると思う

4 募集要項・書式のわかりやすさについて

[適切又は肯定的意見]

[問題点又は新しい提案に関する意見]

わかりにくかった。行政的な表現で、市民にはわかりにくいところがあった。

専門知識がなくても思い・理想を単刀直入に表すような書式がよい。

記入例があるとよかった。

同じようなことをあちらこちらに書かされた。

成果目標は「示しにくい」。

「協働」の意味がわからない。

審査員がどの団体にも同じ質問をするのなら、提案書に項目を予め入れておくと良い。

見積書の書き方や金額設定がしにくかった。

[その他]

他と比較することができないので何ともいえない。

5 その他の意見

(ア) 提案

NPOの質を上げる、市民の問題意識をもたせる等の視点が必要。

NPOの地位向上(ボランティアではないということ)、NPOで働く事に夢がもてるような活動の推進。

行政側も市民側も思いの「温度差」があり、よい意味でも、悪い意味でも何らかの「妥協」が求められる。

一部の市民との協働を模索するよりも、入口になるような展開ができれば良い。

(イ) その他

ここ何年もの間、委託費の総額が増えていない。100万円のみでは、形式的です。

協働について初めて知ることができ、ありがたかった。